

065

待望のFRレイアウト採用で
高級ワゴンに仲間入り

2001

10
月

先

代マークのワゴンモデル「クオリス」はカムリグラシアの兄弟車として

登場し、広いラゲッジスペースが確保できるFRレイアウトを共有した。外観にマークらしいイメージが盛り込まれ、ディーラー店頭で4ドアと並んでも違和感のない出で立ちとなっている。

このクオリスがFMCを行うのはセダン登場から丸1年が経過した後、01年秋が濃厚だ。新型モデルはセダンから新プラットフォームを用い、FRレイアウトに変身。これを受けて高級感が格段に増し、静粛性や走行フィーリングも大幅に向上する。搭載エンジンは2・5直6(D・4)をメインに、手頃感の強い2直6やステーション対抗の2・5ターボもラインナップされる。

外観スタイルはフロント半分をセダンと共有しながら、リア部分を新設。クラウンエステート同様、プラットフォームされたCピラーでガラスエリアを大きく見せ、逆にボディ同色のDピラーによって力強さが演出されるだろう。

CG: T.Suganuma

3ドアは新型5ドアに比べてホイールベースと全長が若干短くなる可能性あり。「タイプR」ならではのホワイトボディとレッドエンブレムに期待が高まる。

075



オブティ 改良

販売台数は少ないものの、安定した商品力を保つために小規模な改良が行われる。MCでバリエーション展開が整理されたが、新しい特別仕様車がラインナップに追加される可能性もある。「クラシック」と「ピークス」の2シリーズが継承される。

076



ネイキッド 改良

10月の改良でグレード展開が見直されるなど、商品力に磨きがかかった。1年後には初めて内外装デザインが変更されるかも。東京モーターショーに参考出品されたピックアップ・モデル「SSピック」の縦線グリルが新たに採用されるか?

077



アルト 改良

ダイハツの追い上げをかわすために、スズキも恒例の年式改良を実施する。ただし、こちらは時期が不定期になりつつあるため、現時点では確実な発表時期が定まっていない。改良ではグレード展開と外板色が手直しされる見込みだ。

078



ワゴンR 改良

アルト同様、一部改良ではボディカラーとバリエーション展開に手が増える。また、春先にはフレッシュマンを狙った低価格なお買い得モデルが、ボーナスシーズンには充実装備の特別仕様車がそれぞれリリースされる可能性が高い。

079



Kei 改良

やや規模の大きいMCが行われ、新シリーズ「スポーツ」も加わったKei。1年後には一部ボディカラーが差し替えられ、新たに低価格モデルもラインナップされる可能性がある。また、OEMモデルのマツダ・ラピュタも同時期に改良を実施。

●はみ出し情報● CVTの採用に積極的なダイハツはミラ、ムーヴ、オブティに加え、ネイキッドにもCVT搭載を検討中。具体的な発売時期は未定だが、いつでも発売できるよう、準備が整っているらしい。

21世紀ニューモデル



066

「タイプR」とともに上陸する
英国産スタイリッシュHB

シビック 3ドア

革

新たなパッケージングをひっさげて登場した新型シビックは、周知のとおり、ショートワゴンの5ドアHBと4ドア「フェリオ」から構成されており、先代まで設定されてきた3ドアが姿を消した。これは国内での3ドア人気が急降下し、販売台数が見込めなくなったためだ。

しかし、全世界で販売されるシビックにとって3ドアも捨てがたいボディタイプのひとつ。そこで、ホンダはヨーロッパで人気が高い3ドアHBを英国工場生産することにし



た。この英国産3ドアは国内へも輸入販売されることが決定している。さらに、インテグラと並んで人気を博している「タイプR」も引き続き設定され、マニアのシビック離れを未然に防ぐ。もちろん、走行性能にも磨きがかかり、現行モデルを超える高いパフォーマンスの持ち主となつて登場するだろう。

国内での発売時期は01年10月の予定だが、それに先立ち、3月のジュネーブショーで新型3ドアが「タイプR」とともに披露される、との新情報も届いている。いっそうのこと、来春は「タイプR」観覧ツアーを兼ねてスイスまで旅行に行こうか？

067



改良

クオリス登場と同時にセダンにも小改良が施される。発売後に寄せられたユーザーの声を参考に、ボディカラーや一部グレードの装備設定が見直されるだろう。また、量販グレード「グランデ」をベースにした特別仕様車加わる可能性もある。

068



サニー 改良

カローラ登場を受けて改良が行われたサニー。デビュー3年後の01年にはMCが実施され、各部のリフレッシュが図られるだろう。おもな変更箇所はフロントグリルとリアコンビランプか。内装ではシート表皮が一新され、高級感がアップする。

069



セレナ MC

セレナは数少ない好調な日産車のひとつとして、メーカー側も大切に売りたいクルマだ。失速しているノアを差し置き、5月にステップワゴンがFMCを行った後、セレナにもMCが施される。フロントマスクやリアコンビランプに手が加えられる模様だ。

070



シビック&フェリオ 改良

02モデルに切り替わるシビック&フェリオはボディカラーとグレード別装備設定が見直される程度で、大きな変更は行われない。ボーナスシーズンに向けてお買い得な特別仕様車加わる可能性もあるが、現段階ではまだ決定していない。

071



オデッセイ 改良

登場後2年を迎えるオデッセイは小規模なMCもしくは改良を実施。やはりボディカラーが一部変更され、グレード展開も見直されるかも。ライバル車の動向次第で、割安価格の特別仕様車がラインナップに追加されることも考えられる。

072



プレオ 改良

原則として年に一度の改良が欠かされないスバル車の例に漏れず、プレオにも改良が施されるだろう。低価格グレードの充実が図られ、手頃感の強いモデル加わるほか、外板色も変更される可能性あり。「ネスタ」に続く新シリーズも登場か。

073



ミラ 改良

MCでグレード展開がしぼられ、選びやすくなったミラ。1年後には小改良が行われ、お買い得モデル「Pico」を中心に、各グレードのボディカラーが見直される。また、クラシカルな「ジーノ」シリーズにCVTが追加搭載される可能性もある。

074



ムーヴ 改良

ミラと同じく、MCから1年が経過する時期に一部改良が施され、商品力維持が図られる。具体的には量販グレードの装備設定と一部ボディカラーが変更され、目新しさが引き出される。カジュアル・シリーズにCVTが拡大設定されるかも。